

2021年11月11日
株式会社 INPEX
広報・IR ユニット
(電話 03-5572-0233)

セクシャル・マイノリティへの取り組みに対する評価指標「PRIDE 指標 2021」の 最高位「ゴールド」及び「ベストプラクティス賞」受賞について（お知らせ）

株式会社 INPEX（以下、当社）は、任意団体「work with Pride」が策定している「PRIDE 指標 2021」において、最高位の「ゴールド」及び「ベストプラクティス賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。



「work with Pride」は、LGBT などの性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体で、2016年より日本初の職場におけるLGBTなどの性的マイノリティへの取り組みの評価指標「PRIDE 指標」を策定しており、当社は、2019年及び2020年に「シルバー」を受賞してまいりました。

今般、2017年度より継続的にLGBT研修を実施し、LGBTアライ（LGBTの理解者の集まり）による積極的な活動に取り組んでまいりましたことに加え、新たな取り組みとして、会社が認めた同性パートナーや、同性パートナーとの子を社内制度上で「家族」として取り扱えるようにしたことや、自認する性を通称名に使用できる運用に変更したこと等が評価され、「ゴールド」受賞につながりました。

また、「ゴールド」受賞に加えて、当社がメンタルヘルスコンサルティング等の福利厚生サービスを委託する外部業者へサービスの提供範囲を従来の2親等から同性パートナーまで拡大出来ないか働きかけた結果、同性パートナー及びその子を家族の扱いとするサービス提供範囲の見直し等につながり、同社のクライアント全てに同様に適用されることとなったことで、LGBTの理解促進を社内で完結させるのではなく社会に広げていくという意識で変化につなげることが出来ることを体現したことが「ベストプラクティス賞」の受賞につながりました。「ベストプラクティス賞」は、応募されたLGBTに対する企業・団体内での新たな取り組みや、新たなアイデアの企画などから選定された優れた取り組みに対して授与されるものです。



今後も当社は、社内のLGBTアライとともに、ダイバーシティ&インクルージョンを推進し、LGBT当事者が将来にわたって生き生きと働くことができる環境を作り等のLGBTへの取り組みを通じて多様性を尊重する企業文化の醸成を図ってまいります。



(INPEX LGBTアライロゴ)

以 上